Ⅶ-3　診療放射線学研究科博士前期課程

１．授業科目・単位　博士前期課程

教　育　課　程　等　の　概　要

（診療放射線学研究科診療放射線学専攻（M））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	年次配置 前期	年次配置 夏季集中	年次配置 後期	年次配置 春季集中	備考		群馬大学連携科目	医学物理コース(R5) ●：医学物理必修科目 ○：医学物理選択科目 無印：選択科目	医学物理コース(R6～) ●：医学物理必修科目 ○：医学物理選択科目 無印：選択科目
共通科目	診療放射線学特論	1･2前		2			○			○				集中			
	研究方法論と基礎統計学	1･2前		2		○			○							●	●
	放射線画像解剖学特論	1･2前		2			○		○					共同			
	放射線学シミュレータ特論	1･2前		2			○		○					共同	○	○	○
	保健医療特論	1･2後		2			○				○			オムニバス		●	●
	保健医療安全学特論	1･2後		2			○				○			共同			
	基礎物理学特論	1･2前		1		○			○					オムニバス		●	●
	量子力学特論	1･2前		2		○			○					オムニバス		●	●
	原子核物理学特論	1･2後		2		○					○			オムニバス		●	●
	専門職教育展開論Ⅰ（カリキュラム編成の基礎）	1前		2			○		○				兼2	共同			
	専門職教育展開論Ⅱ（カリキュラム編成の実際）	1後		2			○				○		兼2	共同			
	研究と倫理	1前		2		○				○			兼3	sh			
	教育と倫理	1後		2		○						○	兼2	集中 オムニバス			
	小計（13科目）	－	0	25	0	－							兼4	－		9単位以上	9単位以上
専門科目 放射線画像検査学分野	磁気共鳴学特論	1･2後		2			○				○			共同		○	○
	造影検査学特論	1･2後		2			○				○						
	放射線画像技術学特論	1･2前		2			○		○					共同	○	●	●
	放射線画像解析学特論Ⅰ	1･2前		2			○		○					共同	○		
	放射線画像解析学特論Ⅱ	1･2前		2			○		○					共同	○	●	●
	機能画像学特論	1･2後		2			○				○			共同			
	核医学検査技術学特論	1･2前		2		○			○					共同		●	●
	医療画像情報学特論	1･2後		2			○				○			共同			
	医学物理学特論Ⅱ	1･2前		2		○			○					オムニバス			●
	医学物理学特論Ⅳ	1･2後		2		○					○			オムニバス		●	●
	小計（10科目）	－	0	20	0	－								－			
専門科目 放射線治療学分野	放射線治療学特論	1･2前		2			○		○					共同		●	●
	先端放射線治療学特論	1･2後		2			○				○			共同		●	●
	放射線生物学特論	1･2前		2			○			○				集中			
	放射線管理計測学特論	1･2前		2			○		○					共同			
	放射線安全管理学特論	1･2後		2			○				○			共同	○	○	○
	重粒子治療技術学演習	1･2前		2			○		○								
	医学物理学特論Ⅰ	1･2後		2		○					○			オムニバス		●	●
	医学物理学特論Ⅲ	1･2前		2		○			○					オムニバス		●	●
	医学物理学特論Ⅴ	1･2前		2		○			○					オムニバス		●	●
	小計（9科目）	－	0	18	0	－								－			
専門科目	計（19科目）		0	38	0	－								－		18単位以上	20単位以上
特別研究	診療放射線学特別研究	1～2通	12				○		○	○	○	○				●	●
	小計（1科目）	－	12	0	0	－								－		12単位	12単位
合計（33科目）		－	12	63	0	－							兼4	－		39単位以上	41単位以上

学位又は称号	修士（放射線学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法

（修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位（30単位以上）を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）
（１）所属する分野の専門科目から6単位以上を履修する。
（２）診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（３）残りの12単位は、共通科目、専門科目から選択履修するものとする。
（４）専門科目については、他分野の専門科目を履修できるものとする。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義及び特別研究として開講する授業科目はこの中に含めない。

授業期間等

１学年の学期区分	２期
１学期の授業期間	１５週
１時限の授業時間	９０分

（医学物理コース修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位（39単位以上）を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）
（1）共通科目から医学物理必修科目（●）5科目9単位を含めて9単位以上を履修する。
（2）専門科目から医学物理必修科目（●）9科目18単位を含めて18単位以上を履修する。
（3）診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義及び特別研究として開講する授業科目はこの中に含めない。

（医学物理コース修了要件）
本研究科に原則として2年以上在籍し、所定の単位（41単位以上）を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格しなければならない。

（履修方法）
（1）共通科目から医学物理必修科目（●）5科目9単位を含めて9単位以上を履修する。
（2）専門科目から医学物理必修科目（●）10科目20単位を含めて20単位以上を履修する。
（3）診療放射線学特別研究12単位を履修する。
（履修科目の登録の上限）
1年間に24単位とする。ただし、集中講義及び特別研究として開講する授業科目はこの中に含めない。

放射線生命医科学コース（連携科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	年次配置 前期	年次配置 夏季集中	年次配置 後期	年次配置 春季集中
（群馬大学連携科目）放射線生命医科学コース	統計・情報処理演習	1		2			○					
	放射線生物学	1		2		○						
	情報医療学講義	2		2		○						
	医用加速器工学	1		1		○						
	臨床腫瘍学講義	2		2		○						
	医学物理演習	2		1			○					
	医学物理実習	2		1				○				

（連携コース修了要件）
4単位以上10単位以内で履修する。
6単位まで研究科の修了要件単位（30単位以上）に含むことができる。